

## 令和 2 年度使用中学校用教科用図書研究報告書

種目（教科）	国語（国語）	教科責任者 氏名	
発行者の番号	2	発行者の略称	東 書
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一年間の学習のポイントが「言葉の力」として示されており、巻末の「学びを支える言葉の力」と関連させて学習することにより、確認しながら学習できるように工夫されている。</li> <li>・練習問題等を示した「文法の窓」「漢字道場」などでは、学習内容を確認し、練習することで基礎的な知識が習得できるように配慮されている。</li> <li>・「話すこと・聞くこと」「書くこと」領域では、教材の冒頭に見通しを持って学習に取りが組めるような学習の流れを示すことで、学習への意欲が高まるよう工夫されている。</li> <li>・説明文教材は、図形やグラフ等の資料等を活用した文章など、内容的にも充実している。古典教材は、三年間で学ぶ古典作品が系統的に配置され、文法教材については、生徒が日常生活を想起しやすい例が多く学習への興味関心を持ちやすい。しかし、文学教材については、生徒と時代のずれが少々ある傾向があり、詩の教材についても、近代の文語表記の作品が多いために、内容理解や音読について少し指導の難しさがある。</li> </ul> <p>以上により教科書としてはかなり良い。</p>		
発行者の番号	1 1	発行者の略称	学 図
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材の始めに学習目標が明示されており、教材末の「ついた力を確かめよう」で確実に力がつけられるように工夫されている。</li> <li>・「読むこと」領域では、習得・活用・探求と 3 教材を段階的に連続して学習し、それぞれの目標が達成できたか自己評価することで読解力を高めることができるよう工夫されている。</li> <li>・「話すこと・聞くこと」「書くこと」領域では、話し合いや相互評価などの交流や共有を軸とした活動により、伝え合う力が身につけられるよう工夫されている。</li> <li>・コラム「発見する読み」を設け、既習教材との比べ読みをさせることで読解活動の充実が図られるよう工夫されている。</li> <li>・年間 2 回「情報と表現」の学習を設定し、非言語情報や複合情報を分析的に読解や評価する学習等を行うことで、継続的に情報活用能力が育成されるように工夫されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ねよい。</p>		

## 令和 2 年度使用中学校用教科用図書研究報告書

種目（教科）	国語（国語）	教科責任者 氏名	
発行者の番号	15	発行者の略称	三省堂
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・領域別に付けたい力の一覧があり、学習の見通しを持たせやすく、各教材の最後に学習の振り返りが設定されており、主体的に学ぶ力がつくように配慮されている。</li> <li>・「読み方を学ぼう」でも、図解等で文章の読み方が分かりやすく表記され、巻末の一覧表で既習事項を確認しながら学習が進められるように工夫されている。</li> <li>・「話すこと・聞くこと」「書くこと」領域では、言語活動のポイントが明示され、確実に力が身につけられるよう工夫されている。</li> <li>・「学びの道しるべ」は、学習に取り組みやすいよう充実した内容になっているが、思考を深める学習をするためのヒントがやや多い。</li> <li>・言語事項の学習において、基礎的基本的な力を確実に定着させるための練習問題が豊富である。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ねよい。</p>		
発行者の番号	17	発行者の略称	教出
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ここが大事」で学習のポイントを分かりやすくまとめるようになっており、確実に力がつくように工夫されている。</li> <li>・教材の始めに示された目標を、振り返りチェック欄で自己評価して、自分の学習が確認できるようになっている。</li> <li>・学習のてびき「みちしるべ」で「確かめよう」「深めよう」「考えよう」という学習の流れで、課題解決的に学習が進められるように工夫されている。</li> <li>・文学教材は、重厚な作品を配置されているが、学習するためには高い国語力が必要とされる。</li> <li>・説明文教材は、活用力の育成を目指し、3つの教材の比較読みをさせるなどの工夫がなされている。</li> <li>・読書意欲を高め、学習を深めるように教材と関連する読書紹介が豊富に掲載されている。</li> <li>・「漢字の広場」や「漢字の練習」での学習後に、巻末の練習問題でも繰り返し漢字の確認学習ができるように工夫されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ねよい。</p>		

## 令和 2 年度使用中学校用教科用図書研究報告書

種目（教科）	国語（国語）	教科責任者 氏名	
発行者の番号	38	発行者の略称	光村
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学習の窓」でねらいやつけたい力が明確に示されており、学習に取り組みやすく、自主的に学習しようとする意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>・身につけたい力が領域毎に一覧で示されており、一年間の見通しを持って主体的に学習に取り組み、振り返りがさらに次の学習につながるような工夫がなされている。</li> <li>・どの領域も基礎から応用へと学習の広がり意識され、学習しやすい教材配置となっている。</li> <li>・巻末に「学習用語一覧」があり、説明文の文章分析や既習事項の確認等をする際に有効に活用できるようになっている。</li> <li>・文学教材については、現代から古典の作品についても、学習に取り組みやすい内容と量の工夫がなされている。中学生が共感する作品が多い。</li> <li>・「次へつなげよう」では、学習したこと生活との関連が意識できるように工夫されている。</li> <li>・情報関係教材についても、情報収集・メディアリテラシー・情報発信と学年に応じて配置されている。</li> </ul> <p style="margin-top: 20px;">以上により教科書として極めてふさわしい。</p>		

## 令和 2 年度使用中学校用教科用図書研究報告書

種目（教科）	国語（書写）	教科責任者 氏名	
発行者の番号	2	発行者の略称	東書
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語の授業との関連を意識した配置の工夫がなされている。</li> <li>・「生活に広げよう」では、発展までの学習活動の手順が明確に示されていて、思考力や判断力が養われるように工夫されている。</li> <li>・「調べよう」「確かめよう」「広げよう」の3段階で学習の進め方で示され、学習意欲が高まるように見通しを持って取り組めるように工夫されている。</li> <li>・行書の基礎基本となる4パターンが示され、基礎的な技能を習得しやすいようになっている。</li> <li>・多様な文字表現については、写真による資料が豊富で、興味関心を高めるものになっている。</li> <li>・冊子の大きさが書写セットを置いたときにじゃまになる可能性が考えられる。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ねよい。</p>		
発行者の番号	1 1	発行者の略称	学図
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動が、毛筆から硬筆の順に配置されており、硬筆で書き込める所が多く、毛筆での学習が硬筆学習でも活かせるように工夫されている。</li> <li>・日常生活における書写作品資料は少ないが、毛筆学習の意義が示される等、書写本来の学習を進めるための教材としては大変丁寧な構成となっている。</li> <li>・書くポイントが分かりやすく横につけてあり、硬筆の練習も升目があり直接書き込みしやすいようになっている。</li> <li>・楷書と行書をうまく組み合わせて手本が示されており、シンプルな文字、文字の大きさは、書く意欲を高めるものとなっている。</li> <li>・「学習の進め方」では、自分の課題を見つけ、課題達成できたかを確認する活動が示され、思考力や判断力が育成されるように工夫されている。</li> </ul> <p>以上により教科書として極めてふさわしい。</p>		

## 令和 2 年度使用中学校用教科用図書研究報告書

種目（教科）	国語（書写）	教科責任者 氏名	
発行者の番号	15	発行者の略称	三省堂
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三年間の目次が示されていることから、見通しを持って主体的な学びで学習が進められるように工夫されている。</li> <li>・「書いて確かめよう」では、色や矢印等を効果的に使って、学習のポイントや注意すべきことが明確に示されており、基礎基本的な技能を習得しやすいようになっている。</li> <li>・「考えよう」「話し合おう」が設定され、課題解決的に考えさせたり話し合わせたりしながら学習が進められるように工夫してある。</li> <li>・キャラクターによる学習のヒントが示され、学習への興味関心を高めるよう工夫されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ねよい。</p>		
発行者の番号	17	発行者の略称	教出
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな力を身につけるか、基礎的・基本的な知識や技能等、目的に合わせて書くようになっている。</li> <li>・目標を意識させながら「考えよう」「生かそう」「振り返ろう」で自己評価までさせ、試し書きで実感できるようになっている。</li> <li>・手本では、入筆等、筆の運び朱筆でがわかりやすく示されている。</li> <li>・鑑賞作品は、作品と作者を関連づけて紹介されており、教興味関心を高めるような生活の中の書写作品も掲載されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ねよい。</p>		

## 令和 2 年度使用中学校用教科用図書研究報告書

種目（教科）	国語（書写）	教科責任者 氏名	
発行者の番号	38	発行者の略称	光村
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンパクトだが三年間の目次が示されていて、学習の見通しが持たせやすい。</li> <li>・基本的な運筆や筆圧等の確認ができるようにわかりやすく二色で示されている。</li> <li>・文字の特徴や書き方のポイントについて考えたり確認したりする課題解決的な学習活動を通して、思考力や判断力が育成されるよう配慮されている。</li> <li>・新聞の書き方や願書、原稿用紙の書き方など、日常生活の中の書式についての学習教材が豊富である。</li> <li>・毛筆の補充教材集の内容が豊富で、習熟度に合わせて主体的に学習が進められるように工夫されている</li> <li>・資料活用における表現力の向上を目指した、発信する際の書き方やまとめ方が網羅されている。</li> </ul> <p>以上により教科書としてはかなり良い。</p>		

## 令和 2 年度使用中学校用教科用図書研究報告書

種目（教科）	社会（地理的分野）	教科責任者 氏名	
発行者の番号	2	発行者の略称	東書

特徴・特筆すべき事項	<p>① ②小单元ごとの「確認しよう」のコーナーで、学習の確認ができ、また、言語活動の課題を提示することで、表現力が育成できるよう配慮されている。</p> <p>② 世界、日本の諸地域の両方の章で、地域ごとに「学習をふり返ろう」のコーナーがあり、学習した内容の確認と、多様なまとめ活動を例示することで表現力を養うことができるよう工夫されている。</p> <p>③ 導入では、生徒と先生のキャラクターによる吹き出しによって、生徒の興味や関心を高めるとともに、導入資料を読み取る視点を気付かせるよう工夫されている。（P5、P21 など導入ページ多数）</p> <p>④ 伝統産業や伝統文化、郷土料理、民話、方言などをコラムで取り上げ、日本の伝統や文化に対する理解が深められるよう配慮されている。P244～P247</p> <p>⑤ 東日本大震災を始めとした様々な自然災害とその地理的要因、復旧・復興のための関係機関の連携や防災・減災に向けた取組を取り上げ、防災・安全への主体的な意識や態度が養えるよう工夫させている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北アメリカ州で形成される多民族社会やアイヌ民族の文化の歴史的背景、沖縄の米軍基地の現状などを「深めよう」やコラムで取り上げることで、人権や平和などの今日的課題への意識が高められるよう配慮されている。</li> <li>・領土に関する内容は領土を明らかにし問題点も表記してある。さらに「アクセス」資料として2ページにわたり取り上げてある。</li> </ul> <p>⑦生徒の発達の段階的な内容の構成・配列の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の諸地域や日本の諸地域の導入では、特徴ある自然や文化などの大きな写真と地図を見開きで掲載することで、地域の概観を捉えやすくするよう配慮されている。</li> <li>・時差など理解するための時間がかかる内容について丁寧な資料が掲載されている。</li> <li>・授業1時間ごとにまとめの課題が椅子マークで表され、復習や予習課題として生徒が利用できる。</li> </ul> <p style="margin-top: 20px;">以上の理由により教科書としてきわめてふさわしい。</p>
------------	--

発行者の番号	17	発行者の略称	教出
特徴・特筆すべき事項	<p>① ②1時間ごとに、「ふりかえる」のコーナーで、学習の確認ができ、また、表現活動に取り組むことができるよう配慮されている。</p> <p>② ②世界、日本の諸地域の両方の章で、地域ごとに「学習のまとめと表現」のコーナーがあり、学習した内容の確認と表現力を養うことができるよう工夫されている。</p> <p>③ 巻末の「用語解説」では、チェック欄を設け、生徒が自ら学習に取り組めるよう工夫されている。P266～</p> <p>④ 身近な地域の調査では、伝統工芸士へのインタビューを取り上げた地域の産業を調査する活動を紹介し、日本の文化と伝統の大切さを理解できるよう配慮されている。P259</p> <p>⑤今日の課題への対応・他の教科等との関連</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の諸地域の学習に「現代日本の課題を考えよう」のコーナーを設け、現代日本が抱える様々な課題（環境・人権など）について写真や資料を基に考察を促すことで、生徒の関心が高められるよう、またこれからの課題として注目される内容が選択されている。</li> <li>・自然災害と防災について、減災の考え方や東日本大震災についても触れながら、自分たちがどのように関わればよいかを考える学習を通して、災害時における自助・公助・共助についての理解が深められるよう配慮されている。</li> </ul> <p>⑥ 生徒の発達の段階的な内容の構成・配列の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「触れて読む地図を知っていますか？」では、体感できる点字の加工が施され、共生社会の在り方について関心が高められるよう工夫されている。（巻頭5）</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		



## 令和 2 年度使用中学校用教科用図書研究報告書

種目（教科）	社会（地理的分野）	教科責任者 氏名	
発行者の番号	4 6	発行者の略称	帝国

特徴・特筆すべき事項	<p>①②小单元ごとに、「確認しよう」「説明しよう」のコーナーがあるので、基礎的・基本的な学習の確認ができ、また、自分の言葉での表現力も育成できるよう配慮されている。</p> <p>① ②世界、日本の諸地域の両方の章で、地域ごとに「学習をふりかえろう」のコーナーがあり、学習した内容の「確認」「説明」「探究」を行うことができ、段階をふまえて学習内容の定着をはかることができるよう工夫されている。</p> <p>③ 世界の諸地域や日本の諸地域では、見開き写真の導入ページを設け、生徒が知っていると思われる有名な観光地や関心を引く地域の文化、特色ある自然や産業の写真を大きく掲載し、各地域の特色が体感できるように工夫されている。P34、P35、64、P65、P88、P89、P100、P101</p> <p>④ 日本や世界の各地で暮らす人々の生活や仕事に関する具体的に紹介する「声」のコーナーを随所に設け、伝統や文化について興味や関心が高められるよう工夫されている。P192、P207</p> <p>⑤ 共生、環境、防災の3つのテーマからなる「羅針盤マーク」のコラムを設け、未来の社会をつくるために参考になる取組や解決の取組を紹介することで、現代及び将来の社会が直面する課題に責任感を持って取り組む態度が養えるよう配慮されている。</p> <p>⑥ 見開きの導入資料には、大きな写真とキャラクターによる吹き出しを掲載し、資料を読み取る視点を掲示したり、学習活動を促したりすることで、興味・関心だけでなく課題意識が高められるよう配慮されている。</p> <p style="text-align: center;">以上の理由により教科書としてかなり良い。</p>
------------	---

発行者の番号	116	発行者の略称	日文
特徴・特筆すべき事項	<p>① 小单元ごとに、「学習の確認と活用」のコーナーで、学習内容の確認と、その知識を活用しての表現力を高められるよう配慮されている。</p> <p>② 世界、日本の諸地域の両方の章で、地域ごとに「学習のまとめ」のコーナーがあり、学習した内容の確認ができる。また、「チェックボックス」の語句利用は表現力を養う手立てとなるよう工夫されている。インデックスをページ左端に設け、学習している単元の位置づけが確かめられながら学習できるように工夫されている。P32 など</p> <p>③ 日本の諸地域では、地域ごとに「地域からのメッセージ」を設け、日本の文化と伝統の現状と継承者の取組について理解できるよう配慮されている。P204、P216</p> <p>⑤ 「地理+α 災害・防災」を随所に配置し、「釜石の奇跡」「ハザードマップ」など防災に関するコラムを紹介することで、日常生活の中で普段から防災対策が意識できるよう工夫されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特設ページ「地域からのメッセージ」では、世界や日本で現在何が課題とされているのかを具体的事例とともに紹介することにより、今日的課題への関心が高められるよう工夫されている。</li> </ul> <p>⑦ 随所にキャラクターの吹き出しを設け、調べるテーマや資料を見る視点などを示すことで、興味・関心だけでなく、課題意識が高められるよう工夫されている。</p> <p>以上の理由により教科書として概ねよい。</p>		

## 令和 2 年度使用中学校用教科用図書研究報告書

種目（教科）	社会（歴史的分野）	教科責任者 氏名	
発行者の番号	2	発行者の略称	東書

特徴・特筆すべき事項	<p>① 見開きごとに「確認」のコーナーを設け、歴史的事象や人物、文化など学習した内容の要約説明を通して、基本的な学習内容の理解と定着が図られるよう配慮されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「歴史スキルアップ」や「調査の達人」のコーナーを随所に設け、時代や年代・系図の読み取り方や、調査学習の進め方などの歴史学習の基本的スキルを示すことで、基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得できるよう工夫されている。</li> <li>・章末の「この時代の歴史の学習を確認しよう」では、キーワードや図表を用いて、基礎的・基本的な知識・概念の定着が図られるよう工夫されている。</li> </ul> <p>② 「この時代の特色をとらえよう」では多様な言語活動を紹介し、時代の特色を捉え、歴史の大きな流れを大観するための力が高められるよう工夫されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「歴史の学習のまとめをしよう」では、プレゼンテーションソフトを使って、古代から現代までの時代の特色を理解して発表する活動を促すことで、言語活動の充実が図られるよう工夫されている。</li> </ul> <p>③ 時代の冒頭に、これから学ぶ時代と前に学んだ時代の 2 つを示す年表・人物などの資料を掲載し時代のつながりを示すことで、その時代を学ぶ意欲が高められるよう工夫されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「私たち歴史探検隊」のコーナーでは、実際の活動場面を紹介し、調査学習のポイントを写真や図等を活用してわかりやすく示し、自主的・自発的な学習が図られるよう工夫されている。</li> <li>・「歴史にアクセス」のコラムを随所に設け、本文での学習に関連する内容を紹介することで、歴史学習への関心がより高められるよう工夫されている。</li> </ul> <p>④ 見返しや本文に世界遺産や国宝、史跡などの文化財を豊富に掲載し、国宝・重要文化財・世界遺産には「宝」「重」「世」マークを付けることで、伝統や文化を尊重しようとする意識が高められるよう配慮されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「人物コラム」では、出身都道府県を入れることで、郷土の偉人に対する理解が深められるよう工夫されている。</li> </ul> <p>⑤ 北方領土・竹島・尖閣諸島については、本文と注釈で扱っているほか、コラムでも大きく取り上げて、それぞれの地域の歴史や編入までのくわしい経緯を掲載している。本文での扱い場所は異なるが、コラムは 2 ページの特集となっている。防災関連では、本文と注釈で東日本大震災と阪神淡路大震災を取り上げ、さらに、コラムでもわが国でおこった主な地震や震災を年表や写真とともに紹介している。</p> <p>⑥ ややくすみのある紙を用いて写真等の図表が見やすくしてある。側注の文字は本文の書体と変えてあり見やすくなっている。注釈や側注の説明文が長すぎて読解しにくい感が否めない。</p> <p style="text-align: center;">以上の理由により教科書としてきわめてふさわしい。</p>
------------	---

発行者の番号	17	発行者の略称	教出
特徴・特筆すべき事項	<p>① 見開きごとに「ふりかえる・ステップ1」のコーナーを設け、基本的事項を確認できるようにし、学習内容の定着が図られるよう工夫されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各章末に「時代の移り変わりを確かめよう」のコーナーを設け、その時代に活躍した人物や出来事を書き入れて図を完成させることを通して、時代の移り変わりが理解できるよう工夫されている。</li> </ul> <p>② 見開きごとに「ふりかえる・ステップ2」のコーナーを設け、学習課題に対応した説明や話し合いなどの表現活動に取り組めるようにするなど、思考力・判断力・表現力等の育成が図られるよう配慮されている。</p> <p>③ 各章の扉のページでは、その時代を象徴する資料を掲載し、キャラクターの吹き出しで気付きや問い、学習の手がかりを示唆することで、共感しながら学習に取り組めるよう配慮されている。</p> <p>④ 「郷土の歴史を探ろう」のコーナーでは、身近な地域の歴史を調べる活動のモデルを示してあり、自主的な学習の進め方を学べるように配慮されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国宝や重要文化財、世界遺産に「マーク」を付けて紹介し、日本の伝統的な文化とともに、世界の多様な文化についても理解が深められるよう配慮されている。</li> </ul> <p>⑤ 北方領土・尖閣諸島・竹島に関する部分では、コラムで3地域を大きく取り扱い、場所や経緯などをくわしく扱うとともに、相手国の現状をくわしく記述している。竹島・尖閣と北方領土を別の場所で扱っているが、本文中での扱いは少なく、側注や写真への掲載となっている。防災に関しては、阪神淡路大震災と東日本大震災の両方を本文で扱い、東日本大震災についてはコラムでの詳細に論じている。また関東大震災についてもコラムでの特集で扱っている。</p> <p>⑦ 紙色は明るい白色で見やすい。図表の説明文はゴシック体で、注釈の文字が明朝体で本文と同じである。小單元ごとの見出しが興味関心をひくよう工夫され、副題が横に添えられている。</p> <p>以上の理由により教科書として概ねよい。</p>		

## 令和 2 年度使用中学校用教科用図書研究報告書

種目（教科）	社会（歴史的分野）	教科責任者 氏名	
発行者の番号	35	発行者の略称	清水

特徴・特筆すべき事項	<p>① 章末のまとめに、キーワードや写真を年表に記入して時代を振り返る問題を設けることで、学習内容の理解と定着が図られるよう工夫されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「資料」のコーナーを設け、本文の内容を補完することで、基本的事項の定着が図られるよう配慮されている。</li> </ul> <p>② 見開きごとに「まとめてみよう」のコーナーを設け、課題について学習したことをもとにまとめ、表現できるように工夫されている。</p> <p>③ 各章の扉のページで、人物や写真・絵などに吹き出しの問いを掲載し、その時代のテーマに関わる視点を示すことで学習意欲が高められるよう工夫されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「歴史のとびら」のコーナーでは、人物や身近な地域の歴史の調べ方等について示してあり、自主的な学習の進め方を学べるように配慮されている。</li> <li>・国宝や世界遺産に「マーク」を付けて紹介してあり、日本の世界の伝統や文化について関心が高められるよう配慮されている。</li> </ul> <p>⑥ 北方領土・竹島・尖閣諸島については、本文で用語を掲載し、側注で地図やわが国に編入された経緯等を簡単に説明している。扱い場所は、北方領土と尖閣・竹島とで異なっている。防災については、巻頭の見開きページで、震源分布図やわが国の大災害の年表を掲載して、生徒の意識を高める工夫をしている。また東日本大震災については、復旧への課題を本文で簡単に扱っているが、阪神淡路大震災については扱いかたが不十分である。</p> <p>⑦ ややくすみのある紙を用いて写真等の図表が見やすくしてあるほか、コラムや注釈・側注の背景色を淡色にしたことで見やすい構成となっている。</p> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">以上の理由により教科書として概ねよい。</p>
------------	---

発行者の番号	46	発行者の略称	帝国
特徴・特筆すべき事項	<p>① 見開きごとにある「確認しよう」のコーナーでは、学習上大切な事項を本文から書き出す活動を行うことで、基礎的・基本的な知識を習得できるよう配慮されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各時代の終わりの「学習をふりかえろう」のページでは、キーワードや年表を用いて、学習した内容をわかりやすくまとめ確認できるようにすることで、学習内容の定着が図られるよう工夫されている。</li> </ul> <p>② 見開きごとにある「説明しよう」のコーナーでは、学習した内容をふまえ、自分の言葉で説明する活動を通して、思考力・判断力・表現力等の育成が図られるよう配慮されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各章の始めの「タイムトラベル」のコーナーでは見開き2ページを使ってその時代を象徴する絵を掲載し、生徒の関心を高められるよう工夫されている。</li> </ul> <p>④ 各時代の文化史について豊富な資料を掲載することで日本の伝統と文化について深く理解できるよう工夫されている。</p> <p>⑤ 「人物コラム」で日本の歴史に足跡を残した人物を数多く取り上げ、業績だけでなく努力する姿や考え方を紹介することで先人の生き方について考えられるよう工夫されている。</p> <p>⑥ 北方領土・竹島・尖閣諸島については、本文と注釈で扱っているほか、2ページ分のコラムで大きく取り上げて、豊富な写真や地図を掲載して、地域の歴史や編入までのくわしい経緯を掲載している。本文での扱い場所は大きくないが地図を2カ所に配置している。防災関連では、本文と側注で東日本大震災を取り上げている。阪神淡路大震災には触れていない。</p> <p>⑦ 紙の色はほどよい白色で、側注の文字はゴシック体、注釈の文字は明朝体と工夫している。右ページ末に、本文を読ませるための課題が見開きごとに構成されている。</p> <p>以上の理由により教科書としてかなりよい。</p>		

## 令和 2 年度使用中学校用教科用図書研究報告書

種目（教科）	社会（歴史的分野）	教科責任者 氏名	
発行者の番号	1 1 6	発行者の略称	日文
特徴・特筆すべき事項	<p>① 本文中にゴシックで示した用語を、側注にまとめて再提示することで、基礎的・基本的な知識の定着が確実なものとなるよう配慮されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見開きごとに「学習の確認と活用」を設け、学習内容の理解を確かなものにするよう工夫されている。</li> </ul> <p>② 「とらえよう！時代の転換」や「とらえよう！〇〇の日本の特色」のページを設け、各時代の特色の比較や歴史の転換点について自分の言葉で表現し、伝え合う学習ができるよう工夫されている。</p> <p>③ 各編の始めに 2 つの資料を比較して時代の転換の様子を捉える学習のページを設け、学習する時代についての課題意識を持たせることで学習意欲が高められるよう工夫されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「図版特集」のコーナーで、生徒の関心の高い「衣・食・住」について取り上げ、資料を読み取る視点も示すことで、学習意欲を高められるよう工夫されている。</li> </ul> <p>⑤ 領土に関する部分では、コラムで竹島・尖閣諸島にふれて、編入の経過や言上までの流れを詳細に扱っている。北方領土と尖閣・竹島は扱う場所が異なっている。また本文中での扱いは少なく、注釈で扱っている。防災関連では、本文や写真を豊富に使って阪神淡路大震災と東日本大震災を扱っている。またコラム 2 ページを使って過去の大地震や先人の知恵についての紹介をしている。概ねふさわしい。</p> <p>⑦ 紙の色は見やすい白色で注釈や側注の文字も本文と変えてあり見やすい。図表やグラフなどの色合いが柔らかくて見やすい工夫である。</p> <p style="text-align: center;">以上の理由により教科書として概ねよい。</p>		
発行者の番号	2 2 5	発行者の略称	自由社
特徴・特筆すべき事項	<p>① 見開きごとに「まとめにチャレンジ」のコーナーを設け、学習した内容を振り返り、キーワードの確認や説明を行うことで、学習内容の定着が図られるよう工夫されている。</p> <p>② 「章のまとめ」では、時代の特色について人物比較によるまとめや「ひとこと」作文などに取り組むことを通して、思考力・表現力等の育成が図られるよう工夫されている。</p> <p>⑥ 「もっと知りたい」のコーナーの一部で日本の伝統と文化に関わる内容を取り上げることで、伝統と文化を尊重する態度の育成が図られるよう配慮されている。</p> <p>⑦ 北方領土・竹島・尖閣諸島については、本文と側注で取り上げて、現状や課題・両国間の主張の違いを明記し、国際関係上の障害となっていることを示している。掲載場所は、北方領土と尖閣・竹島で異なっている。東日本大震災については、写真と本文、さらにコラムで取り上げて、国際社会から高い評価を受けた点まで詳細に取り扱っている反面、阪神淡路大震災についての取り扱いが不十分である。</p> <p style="text-align: center;">以上の理由により教科書として概ねよい。</p>		

## 令和 2 年度使用中学校用教科用図書研究報告書

種目（教科）	社会（歴史的分野）	教科責任者 氏名	
発行者の番号	227	発行者の略称	育鵬社
特徴・特筆すべき事項	<p>① 各章の終わりに「学習のまとめ」を設け、その時代に活躍した人物や時代を象徴するものやできごとなどを年表・地図・絵画資料などを用いて確認できるようにすることで、学習した基本的事項の定着が図られるよう工夫されている。</p> <p>② 見開きごとの「学習のまとめ」では、学習した内容を活用して説明させたり、ノートにまとめたりする活動を促すことで、言語による表現力が高められるよう工夫されている。</p> <p>③ 各章の始めに「虫の目で見ると」のコーナーを設け、各時代を象徴する絵画資料や写真資料を掲載し、学習意欲が高められるよう工夫されている。</p> <p>・「歴史ズームイン」のコーナーでは、学習内容をさらに深く掘り下げた内容を掲載することで、歴史学習の幅を広げ、歴史学習への興味・関心が高められる工夫がされている。</p> <p>・巻頭や巻末付録に、各時代を代表する日本の文化遺産・文化財の写真を数多く掲載し、日本の伝統や文化についての意識が高められるよう配慮されている。</p> <p>④ 「人物クローズアップ」のコーナーでは、「勇気」「勤勉」などの美德を体現した人物や歴史を動かした人物を紹介することで、先人の生き方について学ぶことができるよう工夫されている。</p> <p>⑤ 領土問題については、本文と明治時代でのコラムによって北方領土・竹島・尖閣諸島を一括して掲載し、固有の領土である点を、歴史的な裏づけを示しながら地図で示すなど分かりやすく取り扱っている。防災については、写真資料とともに本文で、阪神淡路大震災と東日本大震災を取り扱っている。</p> <p style="text-align: center;">以上の理由により教科書として概ねよい。</p>		
発行者の番号	229	発行者の略称	学び舎
特徴・特筆すべき事項	<p>② 各章の始めのページで、世界を俯瞰できる地図にその時代の写真やイラストを掲載することで学習内容への興味・関心が高められるよう工夫されている。</p> <p>③ 「歴史を体験する」コーナーを設けることで、体験学習を通して歴史に対する興味を高められるよう工夫されている。</p> <p>④ 巻末の年表ページでは、「日本の文化・宗教」の項目を設け、日本の文化や宗教について写真や図表を示しながら掲載することで、日本の伝統や文化についての理解が深められるよう工夫されている。</p> <p style="text-align: center;">以上の理由により教科書として概ねよい。</p>		



## 令和 2 年度使用中学校用教科用図書研究報告書

種目（教科）	社会（公民的分野）	教科責任者 氏名	
発行者の番号	2	発行者の略称	東書

特徴・特筆すべき事項	<p>① 見開きごとにある「確認」の課題は、生徒にとって適切な内容であり、基礎・基本の定着を図りながら、その時間で学習した内容を確認したり、活用し表現できるよう工夫されている。</p> <p>① 章末の「この章の学習を確認しよう」では、本文中にゴシックで示した用語の再確認を行う「基礎・基本のまとめ」を設け、基礎的・基本的な知識・概念の定着が確実なものとなるよう配慮されている。（5か所）P32、70、116、166、204。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民的分野の抽象的な理解しづらい概念について、巻末の「用語解説」（P241～245）で丁寧に解説することで、生徒の理解が確実なものとなるよう工夫されている。（95語）</li> </ul> <p>② 思考力・判断力・表現力等を育成する工夫としては、「確認」のコーナーを設け、学習した内容を要約したり、説明したりすることで、日頃の授業の中で思考力・判断力・表現力が高められるように配慮されている。また、「公民にチャレンジ」では、課題を設定し、小グループによる話し合いを行うことで、思考力・判断力・表現力が育成できるように工夫されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・章末に「言語活動のまとめ」のコーナーを設け、ディベートなどの多様な言語活動を掲載し、学習課題について資料を基に自分の考えをまとめる活動を通して、思考力・判断力・表現力が高められるように工夫されている。</li> </ul> <p>③ 「公民にチャレンジ」「公民にアクセス」などのコーナーが充実しており、生徒が興味を持って取り組めるようなつくりになっている。「効率と公正」マークもよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・随所に「ティークレイク」のコーナーがあり、身近でおもしろい内容が扱われており、学ぶ意欲・関心を高める工夫が施されている。</li> <li>・「鉛筆マーク」が随所にあり、作業や活動を具体的に紹介することで、生徒が自学自習できる工夫がなされている。</li> </ul> <p>④ 「私たちの生活と文化」（P22、23）では、日本の特色ある文化や伝統、それらの継承や保存に取り組む郷土の中学生の姿を紹介することで、日本の伝統や文化への理解がより深められるよう工夫されている。</p> <p>⑤ 今日の課題として、「集団的自衛権」に関してはコラムを設けて解説している。また、「わが国の領域」については、見開き2ページの「公民にアクセス」をはじめとして相当数のページで詳しく扱っている。「防災」に関しても、「公民にアクセス」で扱っている。「持続可能な社会」についても章立てしてある。</p> <p>⑦ ワイド版にすることで、資料などを豊富に掲載し、また、大きく見やすくしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワイド版が定着しており、資料を豊富に掲載しながら見やすくしてあり、基本的な学習内容の理解と定着が図られるようになっている。</li> <li>・「科学の役割と科学者の願い」（P17）などのインタビューコラムを掲載し、実際に社会参画をしている人々の姿から、自らの生き方について考えられるよう工夫されている。</li> </ul> <p>以上の理由により、教科書としてきわめてふさわしい。</p>
------------	--

発行者の番号	17	発行者の略称	教出
特徴・特筆すべき事項	<p>①章末に「学習のまとめと表現」（6か所：P32、72、116、152、176、206）のコーナーを設けて、単元ごとに学習内容をまとめることで、学習した基礎的・基本的な知識の定着が図られるよう配慮されている。</p> <p>◎見開きごとの学習課題と対応した「ふりかえる・ステップ1」のコーナーを設け、基本的事項を再確認することで、学習内容の理解と確実な定着が図られるよう工夫されている。</p> <p>② 思考力・判断力・表現力等を育成する工夫としては、「読み解こう」のコーナーを設け、絵・地図・グラフなどの資料を基に考察することで、思考力・判断力・表現力等が育まれるよう工夫されている。また、「言葉で伝え合おう」のコーナーを設け、既習事項を活用し、話し合い、課題を解決することで、思考力・判断力・表現力等の育成が図られるように配慮されている。「読んで深く考えよう」のコーナーを設け、読み物資料を読んで、さらに考えを深められるように工夫されている。</p> <p>ワイド版にすることで、資料などを豊富に掲載している。</p> <p>③ 特設ページの「言葉で伝え合おう」のコーナーでは、表現活動を中心としたテーマ学習を紹介しており、生徒の興味・関心が高まるような工夫がされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・随所にある「公民の窓」のコーナーでは身近な話題を紹介し、本文の学習課題を頼深め、興味を持たせる内容となっている。</li> </ul> <p>④ 「つなげたい、日本の伝統や文化」（P22、23）では、受け継がれる伝統技術や文化として「和食」などの事例を取り上げることで、日本の伝統や文化への理解が深められるよう工夫されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際社会における宗教の持つ意味や、文化や宗教の違いをめぐる問題について取り上げ、多様性の中で生きる寛容な態度が養われるよう配慮されている。（P19、196、197）</li> </ul> <p>⑤ 今日の課題として、「集団的自衛権」に関しての内容を特設ページにて扱っている。また、「わが国の領域」については本文内で取りあげているが、「防災」については記述が見あたらない。「持続可能な社会」については章立てしてある。</p> <p>以上の理由により、教科書として概ねよい。</p>		

## 令和 2 年度使用中学校用教科用図書研究報告書

種目（教科）	社会（公民的分野）	教科責任者 氏名	
発行者の番号	35	発行者の略称	清水

特徴・特筆すべき事項	<p>①各編の終わりに、「まとめ」のコーナー（4か所：P24、98、160、188）を設けて、本文中にゴチックで示した用語の再確認を行えるようにすることで、基礎的・基本的な知識の定着が図られるよう工夫されている。</p> <p>③特設ページとして、「もっと知りたい公民」のコーナーを設けており、学習に関連するテーマを図版や写真を中心に解説しているので、さらに興味・関心を広げる工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元の見開きの最初に、「目標」を設けて、学習課題を提示することで意欲が高まるような工夫がなされている。</li> </ul> <p>③ 思考力・判断力・表現力等を育成する工夫としては、「深める公民」「もっと知りたい公民」というコーナーを設け、手記や図表、統計、イラストなど、多種多様な資料を掲載し、それらを活用することによって、思考力・判断力・表現力等の育成が図られるように工夫されている。また、随所に「風船マーク」のコーナーを設けて、考える視点を示すことで、思考力・判断力・表現力等が培われるよう配慮されている。</p> <p>④ 「私たちの生活と文化」（P10）「日本の文化を考えてみよう」（P12）では、日本の文化の伝統と国際化について考察できるようにすることで、多文化共生についての理解を深められるよう配慮されている。</p> <p>⑤ 今日の課題として、「集団的自衛権」や「防災」に関する内容は見あたらない。一方、「わが国の領域」については、「コラム」の中で取りあげている。「持続可能な社会」についても章立てしてある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な解説や補足が必要と思われる箇所には「注」を設けて丁寧に説明したり、関連法規を示したりすることで、学習内容の理解と確実な定着が図られるよう配慮されている。</li> </ul> <p>⑦ 教科書のサイズは、従来通りで、持ち運びには便利である。</p> <p style="margin-top: 20px;">以上の理由により、教科書として概ねよい。</p>
------------	---

発行者の番号	46	発行者の略称	帝国
特徴・特筆すべき事項	<p>①見開きごとにある「確認しよう」のコーナーでは、本文から学習上大切な事項を書き出す活動を促すことで、基礎的・基本的な知識を習得できるよう配慮されている。→ 作業しやすい</p> <p>◎章末の「学習をふりかえろう」（9か所：P28、58、86、102、118、146、162、184、196）のページでは、キーワードや図表を用いて、学習した内容をわかりやすくまとめ確認することで、学習内容の定着が図られるよう工夫されている。</p> <p>② 思考力・判断力・表現力等を育成する工夫としては、「トライアル公民」のコーナーを設け、多様な言語活動を行うことで、思考力・判断力・表現力等の育成が図られるように配慮されている。また、「YES NO」のコーナーでは、賛成・反対の議論を促すことで、思考力・判断力・表現力等が身につけられるように工夫されている。「説明しよう」のコーナーでは、自分の意見を述べたり、考えを書いたりして、思考力・判断力・表現力等が身につけられるように工夫されている。</p> <p>③ 見開きごとにある「クローズアップ」では、これから学ぶ内容に関する実社会の事例を身近でわかりやすく提示してあり、問題意識を持って意欲的に授業に臨める工夫がされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・随所に「羅針盤マーク」をつけたコラムが設けてあり、未来の社会をつくるために参考になる取り組みを紹介しており、学習への興味づけの工夫がなされている。また、将来役立つ知識を紹介する「How to…」のコーナーも興味を引く内容となっている。</li> </ul> <p>③ 公民を学習するうえで大切な用語をわかりやすく説明した「解説」が全45か所欄外に設けられている。</p> <p>④日本の伝統・文化について、身近な年中行事や通過儀礼、郷土の伝統産業などの事例を取り上げることで、伝統と文化を継承し、創造していくことへの理解が深められるよう配慮されている。（P15、16、17）</p> <p>⑤ 東日本大震災で再確認された「助け合い」や「和」の精神、「日本人の気質」（P14、15）を取り上げるなど、我が国や郷土を愛する態度が養われるよう配慮されている。</p> <p>⑤ 今日的課題として、「集団的自衛権」に関しては詳しく解説している。また、「わが国の領域」については、見開き2ページを割いて詳しく扱っている。「防災」に関しても、見開き2ページの記事をはじめとして数多く掲載しており、充実した内容となっている。「持続可能な社会」についても章立てしてある。</p> <p>⑥ ワイド版にすることで、資料などを豊富に掲載し、また、大きく見やすくしている。</p> <p>以上の理由により、教科書としてかなり良い。</p>		

## 令和 2 年度使用中学校用教科用図書研究報告書

種目（教科）	社会（公民的分野）	教科責任者 氏名	
発行者の番号	1 1 6	発行者の略称	日文
特徴・特筆すべき事項	<p>① 本文中にゴシックで示した用語を、側注にまとめて再掲示することで、基礎的・基本的な知識の定着が確実なものとなるよう配慮されている。</p> <p>② 思考力・判断力・表現力等を育成する工夫としては、「学習の確認と活用」のコーナーで、学習した内容をもとに説明したりすることで、日常的に思考力・判断力・表現力等が育成されるように配慮されている。また、単元のポイントに「チャレンジ公民」を設けて、各章の学習内容に関する事例問題を解決することで、ものの考え方や話し合いの技能などが学習できるように工夫されている。さらに、「情報スキルアップ」では、生徒が取り組みやすい作業を行うことで、情報を活用する技能が身につけられるように工夫されている。</p> <p>③ 随所にある「公民プラスα」は、単元の理解を深め助ける内容となっており、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>・随所にある「公民タイムトラベル」は、現代と歴史との接点から現代社会についての理解を深めるためのコラムで、生徒の興味を高めるものとなっている。</p> <p>④ 日本の伝統と文化の特徴を写真や資料図で多面的に紹介することで日本の伝統や文化への理解が深められるよう配慮されている。(P16～19)</p> <p>⑤ 今日的課題として、「集団的自衛権」や「わが国の領域」に関しての内容を本文で扱っている。また、「防災」については「公民プラスα」で扱っている。「持続可能な社会」については章立てしてある。</p> <p style="text-align: center;">以上の理由により、教科書として概ねよい。</p>		
発行者の番号	2 2 5	発行者の略称	自由社
特徴・特筆すべき事項	<p>① 見開きごとにある「ここがポイント」のコーナーは、学習の要点を示すことで、理解が進むように工夫されている。</p> <p>② 思考力・判断力・表現力等を育成する工夫としては、各章の終わりに「学習の発展」コーナーを設けて、学習した知識を活用する課題について考察することで、思考力・判断力・表現力等の育成が図られるよう工夫されている。また、「ディベートをやってみよう」などのページを特設し、さまざまな学習に議論をする場面が取り入れられるように工夫されている。</p> <p>③ 随所にある「ミニ知識」のコーナーは、公民の重要な言葉や事柄を学習するときのヒントになるおもしろい記事が書かれており、生徒の学習意欲を高めるための工夫がなされている。</p> <p>・「もっと知りたい」のコーナーでは、思いがけないことがおもしろく書かれており、さらに学習を深める工夫がある。</p> <p>⑤ 今日的課題として、「集団的自衛権」に関しての内容が本文に掲載されている。また、「わが国の領域」については、巻末に掲載してある。「持続可能な社会」についても章立てしてある。</p> <p style="text-align: center;">以上の理由により、教科書として概ねよい。</p>		

## 令和 2 年度使用中学校用教科用図書研究報告書

種目（教科）	社会（公民的分野）	教科責任者 氏名	
発行者の番号	227	発行者の略称	育鵬社
特徴・特筆すべき事項	<p>① 思考力・判断力・表現力等を育成する工夫としては、「やってみよう」のコーナーを設けて、言語活動例を示すことで、学習内容に関連した調べ方や表現方法などを身につけられるように工夫されている。また、「考えよう」のコーナーを設けて、本文と関連する内容について考察することで、思考力・判断力・表現力等の育成が図られるように工夫されている。</p> <p>③ 「やってみよう」「考えよう」のコーナーは、本文と関連のある事柄をさらに深く掘り下げて考察ができ、生徒の興味・関心がわくような工夫がある。</p> <p>・「学習に役立つウェブサイト」のページを設け、生徒が進んで自学自習に取り組めるように配慮されている。</p> <p>④ 国境をこえた文化の交流と多様性について紹介する「私たちのまわりのクールジャパン」(P169)「文化と宗教の多様性」(P192、193)などを掲載することで、他国を尊重する態度が養われるよう配慮されている。</p> <p>⑤ 今日的課題として、「集団的自衛権」に関しての内容が本文に盛りだくさんに掲載されている。また、「わが国の領域」についても、数ページを割いて掲載している。「防災」に関する内容も掲載している。「持続可能な社会」についても章立てしてある。</p> <p>以上の理由により、教科書として概ねよい。</p>		

令和2年度使用中学校用教科用図書研究報告書			
種目（教科）	社会（地図）	教科責任者 氏名	
発行者の番号	2	発行者の略称	東書
特徴・特筆すべき事項	<p>①「世界全体」「世界の諸地域」「日本全体」「日本の諸地域」で分類され、地域の特色が見やすく、捉えやすくなるよう配慮されている。</p> <p>② 地域ごとに「テーマ資料」が豊富にあり、レポート作成などに活用しやすいよう工夫されている。</p> <p>④ ご当地キャラクターやオリンピック、サッカーワールドカップの開催国などの資料を取り上げ、生徒の興味・関心を高める工夫がされている。(P154、P155)</p> <p>⑤ 世界と日本の主な世界遺産の写真や地図を掲載したり、郷土料理や方言分布とご当地キャラクターの資料を掲載することにより、日本の伝統や文化が世界に誇れるものであることが理解できるよう工夫されている。(P154、P155)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災での被害の状況を示した地図や震災後に見直されたハザードマップなどを掲載することで、防災・安全への意識が高められるよう配慮されている。</li> </ul> <p>③ 地勢図のページに、球体の地球や日本地図をかたどった位置図を掲載することで、常に位置関係を捉えられるよう工夫されている。</p> <p>以上の理由からかなり良い</p>		
	発行者の番号	46	発行者の略称
特徴・特筆すべき事項	<p>①北陸3県の事例を巻頭で紹介することで、地図活用の技能を習得できるよう配慮されている。</p> <p>②「世界の諸地域」「日本の諸地域」ともに資料図が豊富にあり、レポート作成などに利用しやすいよう工夫されている。</p> <p>④ 鳥瞰図や衛星画像を取り入れることにより、世界や日本の姿を大観し、地域の特徴を視覚的にとらえることで、興味・関心が高められるように工夫されている。P13、P25、P40、P52、P148</p> <p>⑤ 日本の世界遺産を地図中で目立つような文字で示したり、伝統的な町並みやさまざまな郷土料理などの資料や写真を掲載することで、日本の伝統や文化を尊重できるよう工夫されている。P155</p> <p>⑥ 日本に起こりやすい災害の状況と、それに対する防災対策が資料図や防災マップなどで取り上げられており、安全意識や防災意識が高められるよう工夫されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・領土問題となっている名前や位置、さらに写真を取り込んであり見やすい。</li> </ul> <p>⑦ 世界の地図には、同緯度・同縮尺の日本地図が掲載されており、世界の国々との位置関係や大きさを比較しながら学習できるよう工夫されている。</p> <p>以上の理由から教科書としてきわめてふさわしい。</p>		

## 令和 2 年度使用中学校用教科用図書研究報告書

種目（教科）	数学	教科責任者 氏名	
発行者の番号	2	発行者の略称	東書
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「例」の次に「たしかめ」を置き、「例」の内容の理解を確認した後、「問」で演習に取り組めるようにすることで、基礎的・基本的な知識・技能が確実に身に付けられるよう配慮され、特に数学を苦手としている生徒にとって、取り組みやすい構成となっている。</li> <li>・「もっと練習」では、「問」と対応した問題を取り上げ、繰り返し練習することを通して、学んだ内容が確実に身に付くように配慮されている。</li> <li>・章末及び巻末の「活用問題」では、事柄や事実、方法、理由を説明する記述式の問題を中心に取り上げることで、思考力・判断力・表現力の育成が図られるよう工夫されている。</li> <li>・「数学のまど」や「学びをいかす」では、日本の歴史や生活に密着した問題を取り上げ、知的好奇心を高められるよう工夫されている。</li> <li>・「学習課題」が適宜示され、何をねらっているかわかるよう工夫されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として極めてふさわしい。</p>		
発行者の番号	4	発行者の略称	大日本
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・練習問題がA、Bとページの左右に配置されており、生徒のレベルに応じて学習の定着を図ることができるよう工夫されている。</li> <li>・「たしかめ」の後に「問」が置かれ、基礎的・基本的な知識・技能が確実に身に付けられるよう配慮されている。</li> <li>・「〇〇の利用」の節を設け、学習した内容を生かして課題解決に取り組むことで、「活用」を実感できるよう工夫されている。</li> <li>・「いろいろな問題」「考えてみよう」「挑戦してみよう」では、多様な考え方ができる問題を取り上げ、思考力・判断力・表現力の育成が図られるよう工夫されている。</li> <li>・学習のめあてが示され、これから学習する内容がわかるよう工夫されている。</li> <li>・振り返りや学び直しをするために、関連するページがより示されるとよい。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ねよい。</p>		
発行者の番号	11	発行者の略称	学図
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「計算力を高めよう」のページを設定し、家庭学習や自主学習を通して、基本的な技能の定着と向上を図ることができるよう配慮されている。</li> <li>・各領域に入る前に「ふりかえり」のページを設定し、これまでの既習事項を振り返る場面を取り上げ、学び直しが確実にできるよう配慮されている。</li> <li>・説明しあう活動の場面では、模範的な説明の仕方や内容を例示することで、数学における説明や討論の仕方を身に付け、思考力や表現力の育成が図られるよう工夫されている。</li> <li>・側注の「おしえて」や「クローズアップ」では、生徒が疑問に思う内容を示し、興味・関心を喚起させるよう工夫されている。</li> <li>・生活に密着した資料や題材が充実するとよい。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ねよい。</p>		



## 令和2年度使用中学校用教科用図書研究報告書

種目（教科）	数学	教科責任者 氏名	
発行者の番号	17	発行者の略称	教出
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学習のまとめ」では、学習した基礎的・基本的な事項を穴埋め形式で確認することで、学んだ内容を確実に身に付けられるよう工夫されている。</li> <li>・各章の最初に「〇〇を学習する前に」を設定し、問題形式で既習事項を確認することで、基礎的・基本的な知識・技能を身に付けられるよう配慮されている。</li> <li>・本文中に「伝えよう」「話し合おう」「深めよう」「広げよう」のラベルを設け、自分の考えを説明したり、話し合ったりする活動を通して、思考力・判断力・表現力の育成が図られるよう配慮されている。</li> <li>・1時間の内容ごとに学習課題を明記し、学習のねらいを明確に持って意欲的に取り組めるよう配慮されている。</li> <li>・例題の解答の内容がきめ細かく示されるとよい。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ねよい。</p>		
発行者の番号	61	発行者の略称	啓林館
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ふりかえり」や「キーポイント」で、これまで学習した基本事項や本文のポイントを取り上げ、基礎的・基本的な知識・技能が確実に身に付けられるよう配慮されている。</li> <li>・「繰り返し練習」や「基本のたしかめ」では、確認のための問題とともに、側注に関連するページを示すことで、理解が不十分な内容の学び直しができるよう配慮されている。</li> <li>・「みんなで話し合ってみよう」「自分のことばで伝えよう」では、いろいろな答えや解決方法がある問題を取り上げ、説明し伝え合う活動を通して、思考力・判断力・表現力の育成が図られるよう工夫されている。</li> <li>・「千思万考」では論理的な思考力をつける問題、「数学展望台」では数学の歴史や文化についての話題が取り上げられ、知的好奇心が高められるよう工夫されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書としてかなりよい。</p>		
発行者の番号	104	発行者の略称	数研
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「確かめよう」「確認しよう」では、本文中の参照ページを示すことで、学習内容の定着状況を確認できるように工夫されている。</li> <li>・「ぐんぐん伸ばそう（チャレンジ編）」では、効率のよい解き方や見方・考え方のポイントを簡潔に例示することで、思考力・判断力・表現力の育成が図られるよう工夫されている。</li> <li>・「やってみよう」や「数学探検」では、数学を身近に感じるものや日常生活に密着した内容を取り上げ、学ぶ意欲が高められるよう配慮されている。</li> <li>・当該学年までに学習した基本事項の確認をまとめ、学び直しや振り返り学習の充実のために、巻頭に「クイックチャージ」として示されているが、巻末等に示されるとよい。</li> <li>・「フラッグガーランド」や「鹿せんべいとぼし」など例示するものとして配慮が必要である。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ねよい。</p>		

## 令和 2 年度使用中学校用教科用図書研究報告書

種目（教科）	数学	教科責任者 氏名	
発行者の番号	1 1 6	発行者の略称	日文
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「繰り返し練習」では、補充や復習のための基本的な問題を取り上げ、基礎的・基本的な知識・技能が確実に身に付けられるように配慮されている。</li> <li>・「力をのばそう」のA問題では、過去の全国学力・学習状況調査で正答率の低かった設問の累題を提示し、学習の定着状況を確認できるよう配慮されている。また巻末にはB問題を意識した問題が取り上げられ、思考力の育成が図られるよう工夫されている。</li> <li>・「深める数学」や「生活への利用」では、数学への興味・関心を深めたりする課題を設定することで、知的好奇心を高められるよう配慮されている。</li> <li>・学習のめあてが示され、ねらいを明確に持って意欲的に取り組めるよう配慮されている。</li> <li>・生活に密着した資料や題材が充実するとよい。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ねよい。</p>		

## 令和 2 年度使用中学校用教科用図書研究報告書

種目（教科）	理科	教科責任者 氏名	
発行者の番号	2	発行者の略称	東書
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「?課題」に対する結論を「!まとめ」として明示し、基礎的・基本的な知識・技能を習得するための工夫が見られる。</li> <li>・基礎技能は本文と区別した囲み「基礎操作」で示し、手順や操作上の注意事項を詳細に記述し、基礎技能の習得が図られている。</li> <li>・生徒が主体的に探求的な活動に取り組めるように、「予想しよう」「調べ方を考えよう」「考察しよう」など探究の過程に直結した言語活動ができるように工夫されている。</li> <li>・単元末には「確かめと応用 活用編」を設け、PISA 型の問題、活用型の問題にも対応できるように図られている。</li> <li>・つまずきやすい内容では、「例題」や「考え方」を示したり、記述をより丁寧にしたりして、生徒が自学自習する際に、つまずきを克服できるように配慮されている。</li> <li>・コラム「科学で GO! }」などで、日常生活や社会と学習内容との関連が見えるよう工夫されている。</li> <li>・各単元末の特集コラム「ニッポンの科学」では、日本人が関わる優れた研究や話題を取り上げ、興味・関心が高まるように配慮されている。</li> <li>・コラム「科学で GO! 防災大陸」でも自然災害のしくみやそれに対してどのように備えればよいかを記述し、自然災害に対する意識が高まるように配慮されている。</li> <li>・中学校上位学年や高等学校につながる発展的な内容で学習の広がりを感じさせることで学習意欲の向上が見られるように考慮されている。</li> <li>・他教科で学習する内容を「〇〇（教科名）で学んだこと」「〇〇（教科名）で学ぶこと」として提示し、算数・数学、技術・家庭などの教科との関連を図り、知識を多元的なつながりの中で定着させるように工夫されている。</li> <li>・ペーパークラフトを設け、立体的に理解できるように工夫されている。</li> </ul> <p style="text-align: center;">以上の理由により教科書としてかなりよい。</p>		
発行者の番号	4	発行者の略称	大日本
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題ごとに「問い」で基礎・基本を確認させ「章末問題」で章全体をふり返り「単元末問題」でまとめるといふ学習の流れで統一され、学習の定着を図る工夫がされている。</li> <li>・各単元に「学んだことを活かそう」という終章を設け、活用力が育成されるように工夫されている。</li> <li>・「話し合ってみよう」の見出しでは、考察や話し合いができるようになっている。また、各単元にレポート例が記載され、思考力・表現力の育成を図るための工夫がされている。</li> <li>・学習内容と関連する読み物資料の「トピックス」のコーナーが大きくとられ、科学に興味をひく内容が多く載せてあり、学習意欲を高める工夫がされている。</li> <li>・「プロフェッショナル」では、職業の問題を取り上げ、理科の学習が社会に貢献していることを意識させるよう工夫してある。</li> <li>・「くらしの中の理科」を設け、学習意欲の向上につながるように工夫されている。</li> <li>・「科学史」では、科学者にかかわるエピソードが紹介されて、科学の歴史に興味・関心が高まる工夫がされている。</li> <li>・道徳との関連をはかり、生命の尊重と自然環境の保護に関連するものに環境マークをつける配慮がされている。</li> <li>・各単元の導入ページで「これまで学習してきたこと」で小学校理科の内容や既習事項を踏まえ上で「これから学習すること」をとりあげ、単元の学習を見通せるように工夫されている。</li> <li>・科学的な素養がつくよう学習指導要領を越える内容として「発展」のコーナーが設けられており、発展的な学習内容の充実が図られている。</li> </ul> <p style="text-align: center;">以上の理由により教科書として概ねよい。</p>		

## 令和 2 年度使用中学校用教科用図書研究報告書

種目（教科）	理科	教科責任者 氏名	
発行者の番号	1 1	発行者の略称	学図
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学習の確認」「学習のまとめ」「単元末問題」で単元の復習ができるように工夫してある。</li> <li>・「例題」を設けて解き方の説明を入れ、その後には「問い」として練習問題を行うことで、計算問題の習熟ができるように工夫されている。</li> <li>・「問い」や「話し合ってみよう」に「活用」「表現」マークをつけ、既習事項を活用したり理由を説明させたりする工夫が見られる。</li> <li>・各単元の最後には活用問題として「活用しよう」を設け、思考力・表現力が育成されるように工夫されている。</li> <li>・「チャレンジ」でおもしろい観察・実験や物づくりを取り入れ、生徒の興味・関心が高められるように配慮されている。</li> <li>・「科学の窓」の「資料」で興味・関心を引き出すとともに日本の金箔技術など伝統・文化を扱う工夫が見られる。</li> <li>・「科学を仕事に活かす」で職業紹介を行う工夫が見られる。</li> <li>・「科学の窓」の「私たちの生活と防災」で日常生活における防災意識が高まるように工夫がされている。</li> <li>・「これまでに学んできたこと」を設け、既習事項を確認して学習できるよう配慮されている。</li> <li>・「思い出してみよう」を設け、既習事項を思い出せるような配慮が見られる。</li> <li>・「発展」や「高校へのステップアップ」で興味・関心を高め、中学校と高等学校の学習の接続に配慮する工夫が見られる。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ねよい。</p>		
発行者の番号	1 7	発行者の略称	教出
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「要点と重要用語の整理」「基礎・基本」「活用・応用」の3つの確認で、基礎的・基本的な知識の定着が図られるように工夫されている。</li> <li>・本文中の重要用語が朱文字で、重要語句を確認しながら学習が進められるように工夫されている。</li> <li>・観察・実験の内容に応じて、「話し合おう」「考えよう」等を設け、言語活動の充実を図るとともに思考力・表現力が身に付くように配慮されている。</li> <li>・章の冒頭に記載された疑問（主に身の回りの事象と関連）をもとにして課題を設定し、探究をさせることで活用力が身に付くように工夫されている。</li> <li>・「ハローサイエンスなどで、科学と生活や歴史との関わりを多く紹介するとともに、科学者の功績を掲載することで先人を敬う態度が養われるように配慮されている。</li> <li>・コラム「くらしの中の理科」を設け、自然災害や環境に対する意識が高まるような配慮がなされている。</li> <li>・単元の冒頭に「思い出そう」があり、既習事項と関連付けて学習できるように工夫されている。</li> <li>・学習指導要領に示されていない内容には「発展」マークを付け、高等学校の学習内容との関連を考慮しながら生徒の興味・関心が高まるように工夫されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ねよい。</p>		

## 令和 2 年度使用中学校用教科用図書研究報告書

種目（教科）	理科	教科責任者 氏名	
発行者の番号	61	発行者の略称	啓林館
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的な実験操作やグラフの書き方等について、適所に「観察スキル」「実験スキル」を設け、基礎的・基本的な技能が身に付けられるように工夫されている。</li> <li>・ 別冊では、各章で学習した基本事項を「用語の確認」「観察・実験の確認」「要点の確認」の3つの確認で定着が図られている。</li> <li>・ 「話し合ってみよう」等の豊富な場面設定により、話し合いやプレゼンテーションなど、自分の考えを提案・発表したり、他者とコミュニケーションしたりすることで科学的な思考力・表現力が身に付くように工夫されている。</li> <li>・ 「記述式問題」への対応では、別冊で「根拠」を意識して書かせる工夫が見られる。</li> <li>・ 学習指導要領に示されていない内容に「発展」マークを付し、生徒の興味・関心に応じて学習ができるように工夫されている。</li> <li>・ 「ひろがる世界」では、実生活と関連する内容や最新的话题を紹介し、将来への期待感が高まるよう考慮されている。</li> <li>・ 「部活ラボ」では、部活動に関連する科学の話題を紹介し、学校生活と理科を結びつける工夫がされている。</li> <li>・ 「先人の知恵袋」では、昔の人が見つけた智恵や現在まで受け継がれている様々な工夫などを学べるように工夫されている。</li> <li>・ 「科学偉人伝」では、自然科学分野の研究の礎を築いた科学者の探求する姿や着想を学べるように考慮されている。</li> <li>・ エネルギー問題や環境問題、放射線の適正な利用等から持続可能な社会の創造へ向けて、国際理解の視点を踏まえて、環境を保全する態度を養うような工夫が見られる。</li> <li>・ 「はたらく人に聞いてみよう」では、学習内容と職業との関連に気づかせるように配慮がされている。</li> <li>・ 各章の先頭と単元内に「ふり返し」を設け、小学校理科の内容や既習事項を踏まえた上で新たな学習が取り組めるように工夫されている。</li> <li>・ 比例や割合など算数・数学の知識を一層活用できるような工夫が見られる。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として極めてよい。</p>		

## 令和2年度使用中学校用教科用図書研究報告書

種目（教科）	音楽（一般）	教科責任者 氏名	
発行者の番号	17	発行者の略称	教出
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の要素、さまざまな音楽文化（日本との比較や共通点）や歌い合わせ聴き深める喜びに分けられており、系統立てて学習ができる。</li> <li>・カラフルなイラストや飾り文字にカラーユニバーサルデザインを用いている。また、歌唱教材に使われている写真も自然や四季の美しさを感じ取れるものを使用している。</li> <li>・鑑賞教材では楽譜が多く、音楽の好きな生徒には楽しみが増える。</li> </ul> <p>以上の理由で教科書としてかなりよい。</p>		
発行者の番号	27	発行者の略称	教芸
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目次には目標に迫るための「音楽MAP」として、音色、リズム・旋律・強弱などの音楽を形づくっている要素が示されている。また、音楽の諸要素を捉えながら学習できるような学習目標と活動内容が明記されている。</li> <li>・「ここが分かればGrade up!」では、音楽の諸要素を活用し、感性を働かせながら音楽表現を工夫できるよう配慮している。</li> <li>・指揮の方法が、基本図形と共に具体的に示され、1年生から技能の習得に効果的である。</li> <li>・歌唱表現の興味・意欲が高まるように、「声が出るしくみと変声」「アカペラの語源」等の情報を詳しく説明している。</li> <li>・創作活動の内容においては、1年「決まったリズムを使って」、2年「ハーモニーをつける」、3年「詩に旋律をつけて」と、段階的・系統的に配慮しているので、無理なく学べるようになっている。また、「日本の音階を使って旋律をつくろう。」があり、和楽器の体験後、創作に移りやすい。</li> <li>・ダイナミックで鮮明な写真やイラスト、舞台芸術の情報が豊富に掲載され、豊かな感性を育てる視点が生かされている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として極めてふさわしい。</p>		

## 令和 2 年度使用中学校用教科用図書研究報告書

種目（教科）	音楽（器楽合奏）	教科責任者 氏名	
発行者の番号	17	発行者の略称	教出
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルトリコーダーの学習では、1つの音で吹く曲や左手のみで演奏できる曲を配置し、基礎的な奏法や技能を身につけて演奏できるように工夫してある。</li> <li>・アルトリコーダーの学習では、レガート奏法やスタッカート奏法などを生かした演奏ができるような楽曲を掲載し、音楽表現を豊かにする工夫されている。</li> <li>・発展では、手作りの横笛があり、身近な教材で楽器を作りより楽器に親しみを持てるように工夫されている。</li> </ul> <p style="margin-left: 20px;">以上の理由で教科書としてかなりよい。</p>		
発行者の番号	27	発行者の略称	教芸
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「音楽MAP」において、学習指導要領の「内容」に示された楽器、創作の指導事項と各教材との関係を明示している。加えて共通事項との関係もアイコンで示している。</li> <li>・学習指導要領の「内容」に示された、楽器の指導事項に関連する教材を「アンサンブルセミナー」のセクションに掲載し、学習の手順などを分かりやすく示している。</li> <li>・小学校で用いる打楽器のほか、ラテン打楽器なども含めて基本的な持ち方や奏法を簡潔に示している。</li> </ul> <p style="margin-left: 20px;">以上の理由により教科書として極めてふさわしい。</p>		

## 令和 2 年度使用中学校用教科用図書研究報告書

種目（教科）	美術	教科責任者 氏名	
発行者の番号	9	発行者の略称	開隆堂
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 刺激的な色彩が豊富で生徒の目を引く内容になっている。</li> <li>・ 資料ページが 10 ページ前後あり、資料集としての利用効果が期待できる。</li> <li>・ 制作手順・技法を載せたページがあり、生徒にとって理解しやすくするための工夫がみられる。</li> <li>・ レイアウトのサイズに大小があり、変化に富み、生徒にとってインパクトを与える編集になっている。</li> <li>・ 制作のヒントになる図解、写真資料があるが、その量が少ない。</li> <li>・ 原寸大の資料のページがあり、生徒の興味を引く内容になっている。</li> <li>・ 2、3 年の上下を合冊にしたため、使い勝手が向上すると思われる。</li> <li>・ 各題材の最終部に振り返りとして、学びの観点・目標が明記されている。生徒に見通しを持って取り組ませるには、冒頭部にあったほうがよい。</li> <li>・ 目次のページが見開きページの内面にあるため、一度引き出さないと確認できないので、やや不便である。</li> </ul> <p style="margin-top: 20px;">以上の理由により、教科書としてかなりよい。</p>		
発行者の番号	38	発行者の略称	光村
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3 社の中で、作品のカラー写真は最も美しく、生徒を引き付ける。</li> <li>・ 資料ページが 20 ページ程度で 3 社の中で最も多く、資料集としての利用効果も十分期待できる。</li> <li>・ 制作手順・技法を載せたページが多く、生徒にとって理解しやすくなっている。</li> <li>・ レイアウトのサイズに大小があり、変化に富み、生徒にとってインパクトを与える編集になっている。</li> <li>・ 制作のヒントになる図解、写真資料が多い。</li> <li>・ 原寸大の資料のページが多くあり、生徒の興味を引く内容になっている。</li> <li>・ 2、3 年の上下を合冊にしたため、使い勝手が向上すると思われる。</li> <li>・ 各題材の先頭部に学びの観点・目標が明記され、また、その下に Q（問いかけ）があり、生徒の学びの指針として大いに利用価値があると思われる。</li> <li>・ 目次のページが開いてすぐある見開きページの外面にあるため、確認がしやすくなっている。</li> </ul> <p style="margin-top: 20px;">以上の理由により、教科書として極めてふさわしい。</p>		



## 令和 2 年度使用中学校用教科用図書研究報告書

種目（教科）	美術	教科責任者 氏名	
発行者の番号	116	発行者の略称	日文
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作品のカラー写真は美しいが、落ち着いた色彩が主で生徒へのインパクトが弱い。</li> <li>・ 資料ページが10ページ前後あり、資料集としての利用効果が期待できる。</li> <li>・ 制作手順・技法を載せたページがあり、生徒にとって理解しやすくするための工夫がみられる。</li> <li>・ 制作のヒントになる図解、写真資料があるが、その量が少ない。</li> <li>・ 和紙を用いたページがあり、素材に興味を持たせる工夫が見られるが、その面の教材とあまりつながりが感じられない。</li> <li>・ 他社に見られる原寸大の作品の掲載が見当たらない。</li> <li>・ 他社よりやや大きめのサイズ（A4より若干大きい）になり、情報量を多くしようという工夫がみられる。</li> <li>・ 各題材の先頭部に学びのねらいが記載され、細かくポイント表示がなされ、生徒の意識を高めることが期待できる。</li> <li>・ 目次のページが開いてすぐある見開きページの外面にあるため、確認がしやすくなっている。</li> </ul> <p style="margin-top: 20px;">以上の理由により、教科書として概ねよい。</p>		

## 令和 2 年度使用中学校用教科用図書研究報告書

種目（教科）	保健体育	教科責任者 氏名	
発行者の番号	2	発行者の略称	東書
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基礎的・基本的な知識や技能の習得が図れるよう、各章末に知識の習得を確認する「確認の問題」が設けられているとともに、重要語句が太字で強調され、見やすくなっている。</li> <li>・ 思考力・判断力・表現力等を育むための工夫として、「考えてみよう」を設け、友達との意見交換やロールプレイング等ができるようになってきている。また、「活用の問題」でそれらの力がさらに高まるように工夫されている。</li> <li>・ 学ぶ意欲や自主的・自発的な学習が図られるよう、イラストや写真、グラフ等が適切に配置されており、学習内容の理解が深まるよう配慮されている。また、欄外にQ&amp;Aを設け、生徒の関心を高める工夫がされている。</li> <li>・ 各章の項目ごとに「今日の学習」が示されており、学習内容が確認できるとともに、習得すべき重要語句が「キーワード」として表記されており、またその解説が巻末にまとめられているなど、生徒の思考の流れに沿った学習が展開しやすいように工夫されている。</li> <li>・ 章だけでなく、学年のまとまりでも表記されており、3年間使用する生徒に対して、学習する内容が一目で確認できるように配慮されている。</li> <li>・ 導入の工夫として「やってみよう」があり、興味・関心を持って取り組めるように工夫されている。</li> </ul> <p>以上の理由により、教科書として極めてふさわしい。</p>		
発行者の番号	4	発行者の略称	大日本
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基礎的・基本的な知識の習得が図れるよう、重要語句を太字で強調表記するとともに、章末の「学習のまとめ」において〈重要な言葉〉として解説付きで示されている。</li> <li>・ 思考力・判断力・表現力を育むための工夫として、「考えよう」を設け、友達との意見交換ができるようになってきている。また、「学習を生かして」により、学んだことを応用してさらに考えを深められるようになってきている。</li> <li>・ 学ぶ意欲や自主的・自発的な学習が図られるよう、各章の初めに、学習する内容を、身近な疑問を投げかけるように表記し、学ぶ意欲を高められるよう工夫がされている。</li> <li>・ 「学習課題」が明記されていることで、その時間に取り組むことが明確に理解できる。</li> <li>・ 口絵としてプロスポーツやアマチュアスポーツ、運動部活動、生涯スポーツなどの様々な写真を示し、スポーツを幅広く捉え、よりスポーツに興味・関心が持てるように配慮されている。</li> </ul> <p>以上の理由により、教科書として概ねよい。</p>		

## 令和 2 年度使用中学校用教科用図書研究報告書

種目（教科）	保健体育	教科責任者 氏名	
発行者の番号	50	発行者の略称	大修館
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基礎的・基本的な知識や技能の習得が図れるよう、資料の所々に吹き出しを設け、読み取ってほしいポイントを示したり、重要語句を太字で強調表記するなどの工夫がされている。</li> <li>・ 思考力・判断力・表現力を育むための工夫として、直接書き込みができる「チャレンジ」や「活用」を設け、自分の考えをまとめたり、友達との意見交換ができるようになっている。</li> <li>・ 学ぶ意欲や自主的・自発的な学習が図られるよう、「コラム」や「トピック」などで学習内容に関連する身近な知識を紹介するなどの工夫がみられる。</li> <li>・ 口絵では様々なスポーツシーンを紹介し、また、過去から現在、未来へと、成長に伴ったスポーツとの関わりを写真で示すなど、生徒にスポーツへの多様な関心を引き起こさせるように工夫されている。</li> <li>・ 各章末に「学習のまとめ」があり、学んだことを確認し、どう活かすかを考えさせるようになっている。</li> </ul> <p style="margin-top: 10px;">以上の理由により、教科書として概ねよい。</p>		
発行者の番号	224	発行者の略称	学研
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基礎的・基本的な知識の習得が図れるよう、重要語句を太字で強調表記するとともに、欄外には学習内容に関連したミニ知識や補足説明が加えられ、理解をより深められるように工夫されている。また、章末にはまとめの問題として、知識の習得を確認する「用語の確認」や「基礎の完成」が設けられている。</li> <li>・ 思考力・判断力・表現力を育むための工夫として、「エクササイズ」で考えたり、話し合ったり、調べたりし、「活用しよう」では、学習を通して身に付けた知識を活用して取り組めるようになっている。また、「活用の問題」も設けられており、学習した内容をさらに高められるように配慮されている。</li> <li>・ 学ぶ意欲や自主的・自発的な学習が図られるよう、各章の扉では、その章で学習することを確認し、学習の見通しが持てるようになっている。</li> <li>・ 今日的課題を取り上げるなど、生徒自らの健康課題を主体的に解決していく能力を育むことができるよう工夫されている。</li> </ul> <p style="margin-top: 10px;">以上の理由により、教科書としてかなりよい。</p>		

## 令和 2 年度使用中学校用教科用図書研究報告書

種目（教科）	技術・家庭（技術分野）	教科責任者 氏名	
発行者の番号	2	発行者の略称	東書
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各編に目標と基礎技能のページを設けることにより、見通しを持って学習を進め、基礎的・基本的な知識と技能を習得できるように工夫されている。</li> <li>・編末の「学習のまとめ」では、自己評価による学習内容の確認と、確認問題や重要語句の一覧を載せることで、各自で定着度を把握できるように工夫されている。</li> <li>・「技術のてんびん」により、普段の授業において評価・活用をくり返し行うことで、技術を適切に評価し、活用する能力の育成ができるようになっている。また、編末の「評価・活用してみよう」では自分の考えを書き込むようになっており、思考力・判断力・表現力の育成ができるように工夫されている。</li> <li>・「伝統・文化」マークで日本の伝統を学ぶ場が設定されており、また、「技術の匠」では勤労観と職業観の育成やキャリア教育との関連が図られている。</li> <li>・「リンク」「他教科」「小学校」マークにより関連ページや他教科、小学校での学習との関連について理解できる配慮がなされている。</li> <li>・教科書のサイズが大きくなったことで、イラストや写真と文章とのバランスが良なり、見やすさとわかりやすさに配慮されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として極めてふさわしい。</p>		
発行者の番号	6	発行者の略称	教図
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「まとめ」と「章末問題」により、基礎的・基本的な知識や技能の習得と定着が図られている。</li> <li>・「考えよう」「調べよう」などを設定し、話し合ったり考えたりすることで思考力・判断力・表現力を高められるように工夫されている。</li> <li>・材料と加工に関する技術では、プラスチックと金属に関する記述が充実している。</li> <li>・作業の方法と手順が詳細で理解しやすい写真を用いて説明されており、自分で考え工夫しながら作業できるように配慮されている。</li> <li>・全体的に淡い色使いで、目に優しい配慮がされている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ねよい。</p>		

## 令和 2 年度使用中学校用教科用図書研究報告書

種目（教科）	技術・家庭（技術分野）	教科責任者 氏名	
発行者の番号	9	発行者の略称	開隆堂
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 章末の「学習のまとめ」では、ふり返りを行うことで、自己評価ができるようになっている。</li> <li>・ 各ページ下段の「豆知識」で、基礎的・基本的な知識の補足を行っている。</li> <li>・ 「探究」のページでは、技術を適切に評価し活用するための工夫がされている。</li> <li>・ 材料と加工に関する技術では、木材の加工と金属・プラスチックの加工が別ページに分けられており、見やすく、作業の流れが分かりやすい。</li> <li>・ 「リンク」マークにより、関連ページや他教科の学習内容との関連が示されており、学習のつながりが理解しやすい。</li> <li>・ 各編に、技術の発達に関する年表が掲載されており、技術と伝統に関して興味・関心が持てるように工夫されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書としてかなりよい。</p>		

## 令和 2 年度使用中学校用教科用図書研究報告書

種目（教科）	技術・家庭（家庭分野）	教科責任者 氏名	
発行者の番号	2	発行者の略称	東書
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的・基本的な知識や技能の習得のため、「基礎技能」のページを設け、繰り返し学習などの記述の充実が図られている。</li> <li>・思考力・判断力・表現力などを育むために、調べ学習のすすめ方や表現の方法を示し、考えをまとめ、発表するなどの言語活動が取り入れられるように工夫してある。</li> <li>・最近の情報が数多く掲載されており、生徒がより身近に感じることで自分の生活と結びつけて学習を深めることができる。</li> <li>・実践例が多く、実践的・体験的に学ぶことができる内容が豊富に掲載されており、表現活動に活かせることができる。</li> <li>・小学校の学習、他教科との関連、他領域とのリンク内容が分かりやすくまとめられており、資料としての活用ができる。</li> <li>・巻頭の表現や優しい色使い、理解しやすい実習手順の写真など生徒の興味・関心を高める工夫がされている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として極めてふさわしい。</p>		
発行者の番号	6	発行者の略称	教図
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的・基本的な知識や技能の習得のため、「まとめ」「章末問題」を掲載してあり、繰り返し学習の充実がほぼ図られている。</li> <li>・学習の始めの「Q」コーナーで課題が提示されており、見通しを持って学習することができる工夫がされている。</li> <li>・個々の学習内容が関連し合っているような工夫をすると、なお良い。</li> <li>・男女共同参画社会について取り上げ、グラフやイラストを用いて詳しく説明されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ねよい。</p>		

## 令和 2 年度使用中学校用教科用図書研究報告書

種目（教科）	技術・家庭（家庭分野）	教科責任者 氏名	
発行者の番号	9	発行者の略称	開隆堂
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・編末の「学習のまとめ」に自己評価欄を設定することで、学習内容が確認できるようになっている。</li> <li>・製作では、作業の流れや手順、進め方を図式化して分かりやすく表現されており、見通しを持ち学習を進めることができるよう配慮されている。</li> <li>・色覚の個人差を問わず、誰にでも見やすい細やかな配慮がされている。</li> <li>・「話し合ってみよう」「考えてみよう」「調べてみよう」など、課題を発見しやすくするための工夫がされており、なかなか発見できない生徒も入りやすい内容となっている。</li> <li>・豆知識欄の内容が多く、資料としての活用ができる。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書としてかなりよい。</p>		

## 令和 2 年度使用中学校用教科用図書研究報告書

種目（教科）	外国語（英語）	教科責任者 氏名	
発行者の番号	2	発行者の略称	東 書
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体が、Unit（文法と語彙の習得）→Daily Scene（コミュニケーション活動による活用）→Presentation（自己表現活動による発信）の3部構成となっており、これらを学習することによって、4技能をバランスよく育成できるよう配慮されている。</li> <li>・基礎的な知識・技能の定着を図るために、各 Unit では本文や技能別の練習問題、Activity で繰り返し学習するとともに、「まとめと練習」で整理・復習できるよう工夫されている。</li> <li>・Presentation では、Hop→Step→Jump の段階を踏み、まとまりのある英文を話したり、書いたりする活動を通して、思考力や豊かな表現力を育成できるよう工夫されている。また、「Tool Box」「Bonus Word Box」「Word Room」などで補充語彙、表現が掲載されており、生徒が積極的に自己表現に取り組めるよう配慮されている。</li> <li>・巻頭には、学年、Unit、Presentation ごとの目標が明示され、生徒が見通しを持ち、主体的に学習することができるよう配慮されている。また、「学び方コーナー」では、英語を意欲的・主体的に学習するための方法（How to）が紹介されている。</li> <li>・題材は、生徒の興味・関心に即したものをはじめ、キャリア教育、環境、福祉、防災・安全などの今日的な課題、伝統・文化、国際理解など多様な題材を取り上げ、生徒の学習意欲を喚起し視野を広げる内容となっている。</li> <li>・1年生のHi、EnglishとUnit0では、小学校外国語活動で慣れ親しんだ語彙や表現を聞いたり話したりする活動が扱われており、中学校へのスムーズな接続に配慮されている。</li> <li>・判型が大きくなり、文字が読みやすく、行間に書き込みができる紙面となっている。イラスト、写真、図版は色彩が豊かで、レイアウトも見やすく、効果的である。</li> </ul> <p style="margin-top: 10px;">以上の理由により、教科書として極めてふさわしい。</p>		
発行者の番号	9	発行者の略称	開隆堂
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PROGRAMの各セクションに、「Basic Dialog」として対話形式で新出文型、文法事項が提示されており、4領域の活動をバランスよく行うことにより、基礎的・基本的な知識・技能の定着が図られるよう配慮されている。また、文法事項を取りまとめた「英語のしくみ」が設定され、基本的な文法事項が確実に身に付くよう工夫されている。</li> <li>・My Projectが各学年に3回（毎学期）設定されており、PROGRAMで身に付けた知識・技能を統合的に活用することで、自己表現力の育成が図られるよう配慮されている。</li> <li>・POWER-UP Listening・Speaking・Reading・Writingでは、習得した知識・技能を活用する活動を通して、英語の運用能力を伸ばすことができるよう工夫されている。</li> <li>・各学年の巻末に、3学年の「英語で『できるようになったこと』リスト」を掲載し、生徒が学習状況を確認しながら自主的に学習を進められるよう工夫されている。また、充実したコミュニケーション活動を行うための資料や補充用読み物（2・3年）が多く掲載されている。</li> <li>・「協働」のマークを記載し、ペアやグループ活動などを通して、生徒同士が教え合いや学び合いができるよう配慮されている。</li> <li>・生徒の日常に関連した話題から、人権、教育、平和、環境問題など今日的課題を取り上げ、生徒の多様なものの見方や豊かな感性を育成する内容になっている。</li> <li>・1年生では、「Word Web」で数や月、曜日、天気の違いなどが掲載され、また、巻末付録にアクションカードが付いており、言語活動に役立つよう配慮されている。</li> </ul> <p style="margin-top: 10px;">以上の理由により、教科書としてかなり良い。</p>		



## 令和 2 年度使用中学校用教科用図書研究報告書

種目（教科）	外国語（英語）	教科責任者 氏名	
発行者の番号	1 1	発行者の略称	学 図
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Lesson 末の Review に各領域の活動が設定され、Lesson で学習した基礎的・基本的な知識・技能の定着が図られるよう工夫されている。また、「Check It Out」では文法事項が分かりやすくまとめられており、重要事項を体系的に復習できるよう配慮されている。</li> <li>・ 「Word Tree」には、運用度の高い語彙や表現が提示されており、言語活動を通して語彙を身に付けることができるよう工夫されている。</li> <li>・ 各学年の「Chapter Project」では、習得した知識・技能を活用しながら、思考力や表現力等を育成することができるよう工夫されている。</li> <li>・ 「Talking Time」では、日常生活における言語の使用場面（電話の会話や道案内など）が扱われ、場面特有の会話表現の習得と運用能力の育成が図られるよう配慮されている。</li> <li>・ Chapter 扉に Lesson や各コーナーのトピック、言語材料、目標を明示し、生徒が学習の見通しを立てたり、学習を振り返ったりすることができるよう工夫されている。</li> <li>・ 1 年生の最初の単元は、小学校外国語活動で慣れ親しんできた一般動詞（like、play）を使った文から導入されており、中学校の英語にスムーズに接続できるよう配慮されている。</li> <li>・ 1 年生では、本文の文字はすべてブロック体で記載されており、生徒にとって親しみやすい。また、アルファベット点字を浮き出す工夫がしてあり、効果的である。</li> </ul> <p style="margin-top: 20px;">以上の理由により、教科書として概ねよい。</p>		
発行者の番号	1 5	発行者の略称	三省堂
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各 Lesson の GET に「Word Bank」を配置し、Practice の各領域の活動を通して、文法事項や語彙の定着が図られるよう工夫されている。</li> <li>・ 各学年の Project では、各 Lesson で学習した知識・技能を活用した表現活動を設定し、自己表現力を高めることができるよう工夫されている。</li> <li>・ USE Speak、USE Write、Project では、スピーチ・プレゼンテーションなどの話す練習や、メールやエッセイなどの書く練習など、多彩な言語活動が設けられている。</li> <li>・ Use Read では、「Tips for Reading」や「Check」で内容理解のヒントが、また「Think」で思考を深めるポイントが提示されている。</li> <li>・ Lesson 扉には、学習のめあてとして「この課で学ぶこと」が示され、生徒が見通しを持って学習できるように、また、「For Self-study」では、英語の学習の仕方に関するヒントを提示し、生徒の自律的な学習を促すよう工夫されている。</li> <li>・ 巻末に「What Can I Do? (CAN-DO リスト)」を掲載し、学習の到達状況を確認しながら学習を進めることができるよう配慮されている。</li> <li>・ 全学年ともブロック体の書体を基本としながらも、題材内容に応じて活字体や手書き文字の書体が用いられるなど、読みやすくなるよう工夫されている。</li> </ul> <p style="margin-top: 20px;">以上の理由により、教科書として概ね良い。</p>		

## 令和 2 年度使用中学校用教科用図書研究報告書

種目（教科）	外国語（英語）	教科責任者 氏名	
発行者の番号	17	発行者の略称	教 出
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「Writing Tips」「Reading Tips」などでは、活動とともに4技能の習得に役立つコツが示され、基礎的・基本的な知識・技能の定着が図られるよう配慮されている。また、「英語のしくみ」では、文構造や文法についてポイントを絞って分かりやすく説明されている。</li> <li>・別冊「Essential（赤色マスキングシート付き）」は、「PLUS Dialog」「PLUS Activity」などの活動で活用することにより、基本的な文法事項や語句のより確実な定着が図られるよう配慮されている。</li> <li>・Lesson を振り返る Task や学習した知識・技能を活用する Project を配置し、自分の考えを表現する力を高めることができるよう工夫されている。</li> <li>・「Time for Words」では、ある場面やジャンルでまとめた語句を、また、「Time for a Skit」では、道案内や電話など、特定の場面でよく使われる表現を平易な活動を通して習得できるよう工夫されている。</li> <li>・各学年の巻末に全学年の「Can-Do 自己チェックリスト」を掲載し、学習の達成状況を自己評価できるようになっている。</li> <li>・各 Lesson では、英文の場面設定を補足する写真や絵が多く掲載されており、生徒が理解しやすくなるよう工夫されている。</li> </ul> <p style="margin-top: 10px;">以上の理由により、教科書として概ね良い。</p>		
発行者の番号	38	発行者の略称	光 村
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Unit の各パートの「Try it!」では、学習した表現を用いた各領域の活動が設定されており、繰り返し学習することで、基礎的・基本的な知識・理解の定着を図ることができるよう工夫されている。</li> <li>・文法事項をまとめて整理した「Language Focus」が配置され、簡単な言語活動等を通して学習事項を確認、定着できるよう工夫されている。</li> <li>・Unit 後の「You Can Do It!」では実際の使用場面を想定した言語活動が設定され、「Go for It!」では Unit で学習した内容を活用して統合的な自己表現活動ができるように配慮されている。</li> <li>・「Word Square」では、自己表現活動に役立つようにイラストを使った英単語が数多く紹介されている。</li> <li>・各 Unit や「Go for It!」には、学習到達目標が CAN-DO 形式で示されており、見通しを持って学習に取り組んだり、学びを振り返ったりできるように工夫されている。</li> <li>・「Your Coach」では、辞書の使い方や英文を読むコツなどが紹介されており、生徒が自律的に学習を進めることができるよう配慮されている。</li> <li>・他教科の内容の一部を英語で学習する「CLIL 英語で学び、英語で考えよう」が配置され、生徒の知的好奇心を喚起し、英語学習の幅が広がるよう工夫されている。</li> </ul> <p style="margin-top: 10px;">以上の理由により、教科書として概ね良い。</p>		